

生中通命

平成28年9月1日(木)

生駒市立生駒中学校

文責 校長 藤原康成

「口蓋垂」自分の知らないところで人は支えられ、生かされています。

皆様ご存知のように、8月16日(火)午前、市内中学校で部活動の練習中のハンドボール部員一年男子が熱中症で病院に搬送され、17日早朝にお亡くなりになりました。ご家族のみなさまの哀しみや憤り、そしてお子様の無念さに想い心震える感であります。

あらためまして、お亡くなりになられたお子様のご冥福を心より心よりお祈り申し上げ、命の尊さ、重さをしっかりと心に刻み。「黙祷」

そして、「命・命絶対、最優先」を心に命じ、日常からの活動に対する十分な配慮、個々への目配り、気配りを重視すると共に、学校⇄生徒⇄家庭の連携・共通理解の下、環境を整え、様々な研修も進めていき、今一度教職員一同、全力で命を守る取り組みを強化していきたいと考えております。今後ともご相談やご心配な点がありましたら、随時ご連絡いただきますよう、よろしく願いいたします。「命・命絶対、最優先」

『感動・感激：感謝の夏・・・平和を共に考えるトキ』

◆リオデジャネイロ 五輪8.6開幕

競技の結果が待ちきれず、深夜、テレビにくぎづけになってしまった人はいなかったでしょうか。大きなプレッシャーとの戦い、レスリングの53kg級吉田選手の銀メダルの涙は4連覇という自分との戦いであったと思います。メダルにはとどかなかった選手たちも含め、どんな思いでこのリオに臨んだのか私たちには想像できない過程があったことでしょう。メダルの数ではない多くのドラマ、多くの人たちの支え(感謝)が輝いた大会であったと思います。2020東京五輪ではもっと、自分のために参加選手は競技を楽しんでくれることを願っています。



*パラリンピック9月7日(水)開幕が待ちどろしい私です。

◆甲子園8.7開会式(選手宣誓、行進の先頭、始球式)



もう一つの夏・・・選手宣誓、市立尼崎高校前田主将。宣誓文には熊本地震の被災地や、昨夏100年の節目を迎え、次の100年へのスタート切った高校野球への想いを盛り込み、観客から大きな拍手がおこった。初めて開会式を甲子園球場で観戦した。一度はこの聖地のグラウンドに立ちたいと夢みた者として、体が震え、早朝から降り注ぐ真夏の太陽を浴びながらも肌の立つなんともいえない最高の気分であった。

決勝： 作新学院 7vs1 北海 炎天下の中、生き活きと躍動する高校球児に感動をいただきました。「最後まであきらめない心と勇気を・・・」

*野球を通して得たものは？ やっぱりなかまの思い絆、一生の宝物ではないでしょうか。

ついでに、私の母校である岐阜中京も14年ぶりの出場となりました。アルプスでの応援も力が入ったのですが、周りに集まった三十数年ぶりに再会したなかまや先輩後輩の顔を横目で眺めると、フト高校時代の熱かったあの頃を思い出しました。最終的に願いは叶えることはできなかったけれど、こうして今もその時をついこの間のように語れるなかまがいてくれることに感謝するばかりです。夏が来れば思いだす、大切な大切な人達。

◆広島8, 6・長崎8, 9・終戦記念日8, 15

被爆から71年がたち、被爆者の平均年齢は80歳を越えました。世界が「被爆者のいない時代」を迎える日が少しずつ近づいています。戦争、そして戦争が生んだ被爆の体験をどう受け継いでいくかが、今、問われています。若い世代の皆さん、あなたたちが当たり前と感じる日常、例えば、お母さんの優しい手、お父さんの温かいまなざし、友だちとの会話、好きな人の笑顔…。そのすべてを奪い去ってしまうのが戦争です。



戦争体験、被爆者の体験に、ぜひ一度耳を傾けてみてください。つらい経験を語ることは苦しいことです。それでも語ってくれるのは、未来の人たちを守りたいからだということを知ってください。

長崎では、被爆者に代わって子どもや孫の世代が体験を語り伝える活動が始まっています。焼け残った城山小学校の校舎などを国の史跡として後世に残す活動も進んでいます。若い世代の皆さん、未来のために、過去に向き合う一歩を踏み出してみませんか。 (長崎平和宣言より一部抜粋)

『気になって見つめてみよう、本気になって未来のこと
命のこと考えてみよう。きっと、きっと変わるはず、自分が変われば回りが変わる。
平和について、今、本気で考えていこう。』



さあ、2学期が始まりました。新しい自分との勝負です。三年生の部活動を終えた人達はこれまでの生活とは変わって、時間の使い方をコントロールしなければいけません。一二年生は新チームでのスタートです。一人ひとりがしっかりと目的・目標を持って、毎日を楽しみましょう。また、健康管理をしっかりと、体調が良くないときは必ず、先生に伝え絶対に無理をしないように、先生たちもみんなの様子をしっかりと観察していきます。体育の授業や教室の授業においても部活動と同じです。早めの水分補給や安静が必要な場合も教科や担任の先生に伝えましょう。ご家庭でもご心配な点があれば必ずお知らせください。



『命・命・絶対・最優先』

中学生が発信・・・

「おはようございます」「こんにちは」町にとびかうあいさつの「輪」勇気を出していこう・・・ みんなのあいさつが、町を地域を変えていく。